



鹿児島大学 (鹿児島県)



九州の南端で<日本>を学ぶ・<日本>を研究する基礎作りをしませんか！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

鹿児島大学は、九州最南端に位置する9学部、10研究科および留学生センターや国際島嶼教育研究センターなどの教育・研究施設を有する国立の総合大学です。鹿児島大学が新制国立大学として発足したのは昭和24年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、歯学部、共同獣医学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法文学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のURLを参考して下さい。

Welcome to Kagoshima!!



2) 教員・学生数等

学部生 (留学生)	8,953名 (119名)
大学院生 (留学生)	1,545名 (163名)
教員	1,037名
職員	1,504名

② 国際交流の実績

現在、学部学生8,953名のうち留学生119名、大学院生1,545名のうち留学生163名が在籍しています。

過去10年間の日本語・日本文化研修留学生の出身と専攻分野は以下の通りです。この中の何名かは研究生・大学院生などとして再来日し、学位を取得しています。

出身…アメリカ合衆国、インドネシア、オーストラリア、シンガポール、韓国、中国、ドイツ、ベトナム、ポーランド、モンゴル、ロシア、ウクライナ、ラトビア、スペイン、キルギス、コスタリカ、トルコなど。

専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 282人、日本語・日本文化研修留学生 4人
 2014年：留学生数 277人、日本語・日本文化研修留学生 4人
 2013年：留学生数 283人、日本語・日本文化研修留学生 4人

④ 地域の特徴

鹿児島市は人口約60万人を有し、地域の特性を生かして古くから海外との交流により発展してきた都市です。古くはフランシスコ・ザビエルの来航、また藩政時代から海外貿易に力を注ぎ、幕末には国禁を犯して英国に留学生を送るなど海外交流の歴史は古くから続いています。

桜島を目の前に眺望できる鹿児島市は、東洋のナポリとうたわれイタリアのナポリ市を始め、オーストラリアのパース市、中国の長沙市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を結んでいます。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整い、快適な留学生活を送ることができます。

■コースの概要

① コースの特色

- 1) 次のような研修留学生を募集します。
 - i 日本語能力(聞く・話す・読む・書く)をさらに伸ばしたい人。
 - ii 日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
 - iii 鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。
 - iv 自分の卒業論文作成のために、テーマを探し、資料の収集を行い、論文指導を受けたい人。

2) 本学のコースは、このような研修留学生を対象に、その留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。また、留学生の専門分野に応じて、指導教員が論文作成のための指導を行います。選択科目が豊富に用意されているので、留学生は自分の希望に沿った講義を受講することが可能です。

② 受入定員

6名(大使館推薦3名、大学推薦3名)

③ 受講希望者の資格、条件等

次の(a)及び(b)の条件を満たしている者が、このコースを受講できます。

- (a) 外国の大学に1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
- (b) 日本語能力試験のN2以上に合格または同等の能力を有する者。



④ 達成目標
日本語能力試験N1合格を目標とします。また、日本語によるポスター発表、最終レポートの作成を達成目標としています。

⑤ 研修期間
2016年10月1日 ~ 2017年9月30日
修了式は9月を予定(2016年は9月)

⑥ 研修科目の概要
授業は原則として、I期・II期各15週間開講されます。
留学生の日本語力、留学目的に合わせて「日本語研修コース」と「日本語・日本文化研究コース」のどちらかを受講します。コースの選択については、プレースメントテストの結果をもとに、留学生センターの教員と相談して決めます。

〈日本語研修コース〉

日本語力に応じて留学生センターの日本語科目や文化の科目を中心に受講します。

科目群	科目数	単位・時間数
日本語科目	6科目	10単位 300時間
文化学修科目	2科目	4単位 60時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位 120時間
自由選択科目	2科目以上	2単位以上 60時間以上
参加型科目	1科目	単位なし 30時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目以上	21単位以上 570時間以上

〈日本語・日本文化研究コース〉

留学生センターの日本語科目の他に、学部の専門科目、共通教育の文化学修科目を受講します。

科目群	科目数	単位数	時間数
日本語科目	2科目	2単位	60時間
文化学修科目	3科目	6単位	90時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位	120時間
自由選択科目 専門科目	6科目以上	12単位以上	180時間以上
参加型科目	1科目	単位なし	30時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目	24単位以上	480時間以上

1) 必須科目

日本語科目、文化学修科目には次のような科目があります。プレースメントテストの結果に基づいて指定されたレベルの科目を受講してください。授業は全て日本語で行われます。

留学生センター開講科目

日本語科目

- [会話] 場面や相手に応じた会話のスタイルを学ぶ。
- [読解] 語彙・文法だけでなく読解に必要な技術を学ぶ。
- [作文] レポート、論文作成の基礎を学ぶ。また先生や目上の人に送るような、やや改まったメールの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本文化入門 異文化理解

共通教育科目 (日本人学生が学ぶクラス)

日本語科目：日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
大学生活に必要なアカデミックジャパニーズを学ぶ。

文化学修科目：日本事情A、B

文化の定義、慣習とマナー、鹿児島県の歴史、時代と文学、異文化サバイバル、留学論、地理、教育、政治、伝統、宗教、昔話、現代文学、人間関係論などを扱う。

専門科目

自分の専門分野に関する学習・研究のために、共通教育や所属する学部及び他の学部で開講されている授業科目について指導教員と相談の上、受講する科目を決めます。

2) 見学、地域交流等の参加型科目 地域交流等の参加型科目

国際理解教育調査研究Ⅱ 2単位 (I期30時間) 「日本人学生と学ぶ鹿児島」というテーマのもと日本人学生と留学生の合同グループで鹿児島について見学調査しその結果を発表します。

週1回の授業で事前準備を行い、見学には1日を使います。

地域行事への参加 (単位なし)

地域の国際交流行事に参加し、参加レポートを作成します。



3) その他の講義、選択科目等 選択科目等 (科目例)

I期開講 * 全て2単位 (30時間)

言語行動論Ⅱ 異文化理解論
国語学概論 狂言の世界
日本史学 暮らしから試みるニュース

II期開講 * 全て2単位 (30時間)

日本語教授法概論
音声学概論 ことばと社会
異文化理解 鹿児島探訪—文化

※この他にも学部で開講されている専門科目を受講することができます

⑦ 年間行事

10月： 秋期オリエンテーション

11月： 大学祭

インターナショナル・ナイト

2月： 2泊研修旅行 (京都・奈良)

4月： 春期オリエンテーション

8月： ポスターセッション

屋久島ホームステイ

⑧ 指導体制

1) プログラム実施委員

氏名(職名)	所属	専攻
和田 礼子 (教授)	留学生 センター	日本語教育 日本語文法
中島 祥子 (准教授)	教育学部	日本語教育 異文化理解教育
梅崎 光 (准教授)	教育学部	国語学 日本語の歴史
市島佑起子 (講師)	留学生 センター	日本語教育 社会言語学

2) 指導体制

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部・法文学部の教員の中から指導教員を1名定め、学習・研究上のアドバイスを行っています。また、調査、文献検索などの小論文作成指導等を継続的に行い、随時個別指導も行います。生活面の指導については留学生センターと連携しながら行います。

⑨ コースの修了要件

規定の単位を取得し、日本語ポスター発表及び小レポートを提出することが条件です。コース修了時には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。



■ 宿 舎

- ・ 鹿児島大学内の留学生用の宿舎
国際交流会館 (郡元キャンパスから徒歩20分)
 単身室 122室 4,700~25,000/月
 夫婦室 7室 9,500~11,900/月
 家族室 4室 14,200/月
 ※光熱水費が別に必要です。
 ※部屋の割り当てについては希望に添えない場合があります。
- ・ 過去3年間の日研生の宿舎入居状況 (各年度10月現在)

年度	人数	宿舎入居状況
2015年度	4名	国際交流会館へ入居
2014年度	4名	国際交流会館へ入居
2013年度	4名	国際交流会館へ入居



■ 修了生へのフォローアップ

個別対応としては、プログラム実施委員が適宜必要に応じてメール送受信を行っています。また、鹿児島大学 Newsletter の送付及び鹿児島大学の広報活動を担う元日研生には「鹿児島大学友好大使」の任命を行います。

■ 問合せ先

(担当部署)

鹿児島大学研究国際部国際事業課

住所：〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24

TEL: +81-99-285-3015 (直通)

FAX: +81-99-285-7035

E-mail: ryugaku2@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学留学生センターホームページ

URL: <http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿児島大学ホームページ

URL: <http://www.kagoshima-u.ac.jp>

